

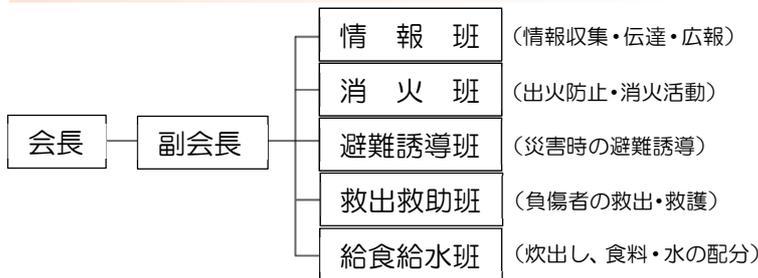
災害に備えましょう！

1月17日は
「防災とボランティアの日」

自主防災組織(自主防)って？

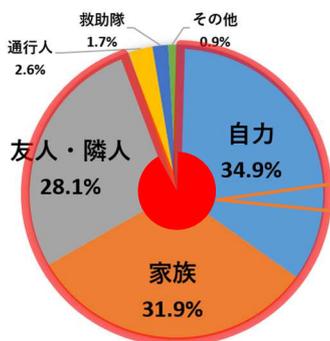
「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、自主的に結成する組織です。
災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います。

自主防災組織の体系の例



どんな活動をして、誰が何を受け持つか事前に決めておくことが重要！

自主防災組織の重要性



生き埋めや閉じ込められた際の救助

約 95%が
地域の人による救助

自主防の活動

平常時の活動

1. 災害について学ぶ
2. 地域の安全を確かめる
3. 住まいの安全を確かめる
4. 防災訓練を行う
5. 防災資機材を備蓄する

災害時の活動

1. 情報の収集・伝達
2. 出火防止・初期消火
3. 救出・救護
4. 避難・避難誘導
5. 給食・給水

ポイント

できることから始めて、継続すること！

- ① 無理なく、楽しく、継続できる活動を
- ② 警察・消防・看護師などの経験者を引き込もう
- ③ ほかの自治会とも連携し、情報交換
- ④ 県や町の講演会、研修に参加
- ⑤ 地域行事での炊き出しやテント立てが防災訓練に

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災では、救出者の約 95%が自力や家族、近隣住民などの地域の人たちにより救助されています。

大規模災害が発生した直後は消防や警察などの公的機関の救援が不足するので、地域で結束して災害に対処することが大切です。

栄町地区の自主防災活動 ～夜間避難訓練～

参考事例紹介



タイムスケジュール

- 19:00 地震発生
避難開始
- 19:30 テント設営
- 19:50 御荘中へ移動
- 20:00 訓練振り返り

活動のポイント

- ◆避難に車を使う（車中泊避難）ことを想定
- ◆夜間発災時を想定し、暗い中での避難を行う
- ◆訓練終了後、振り返り会を行い意見出し合う

訓練や活動のご相談は↓

【お問合せ先】防災対策課 TEL:0895-72-0131